船田町会だより

NO．167
平成３０年８月１２日
発行責任者　平塚　忠勇

現地調査を実施!一歩前進の舟田道拡幅工事

八王子市道路交通部計画課は７月９日、船田町会に対して設計予算が確保できたので舟田道の拡幅工事を促進するための現地調査を７月上旬から１１月上旬まで実施することを説明してきました。それによれば、道路と川の一番落差のある自由が丘にぬける井上直樹さん宅西側の道路脇空き地でボーリングをして地質調査を行い地盤の強度の確認を行うとのことです。また、概略設計はできているが建物と道路の幅を測り直し、構造物に出入りができるのかどうか等を含めて場合によって計画の変更も検討するとのことです。舟田道は東側が２８年１０月に終了し３年近くになりますが、西側は一部用地買収を行ったものの、中断したままの状況です。たしかに地形的な困難な実態と予算確保の面での厳しさがありますが、今回の地質調査は現状を一歩打開するものとして受け止め、町会は工事の促進を改めて強く要請しました。

セレモアと葬祭サービス団体割引制度の利用で覚書を締結

八王子市ではセレモアと葬祭サービス団体割引制度の契約を行っている町会・自治会は１３０にも達していますが、このたび、船田町会もこれを活用することにして８月６日「覚書」を締結しました。具体的な内容では白木祭壇葬儀基本価格の３０％、生花・花輪の１０％割引をはじめ、さまざまな特典があります。

具体的な内容については別途パンフレットを全戸に配布しますが、船田町会の会員、ご家族、ご親族の皆さまでも利用できますので、大いに活用してください。

「児童館前」バス停北側の空き地へ保育園を新設

都営長房団地の建て替えに伴い、八王子市立長房南保育園が入っている棟が平成３２年度に取り壊されることになりました。このため八王子市は長房町周辺地域の待機児童の動向や今後の保育需要の見通しを踏まえて長房保育園を廃止し、代替え地に民設民営の保育園を設置する計画を明らかにしました。

現在、長房南保育園は定員８０名、新設する場所は長房児童館前バス停の北側空き地で約１５００㎡(空き地の３分の１)、開園予定は平成３２年４月１日、民営事業者を１０月に公募し、建設業者を入札決定して３１年１月以降、工事着工するということです。具体的な工事工程については改めて提示することになりました。町会はこの計画に基本的に賛成しながらも、児童館東側の道路拡幅を同時に実現してほしいと要請しました。

町会短信

□ 西日本豪雨災害支援で船田町会から３０,０００円を拠出

７月５日から西日本の広島、岡山、愛媛県などでこれまで経験したことのない豪雨で土砂災害、河川の氾濫、洪水、浸水など甚大な被害をもたらしました。八王子市町自連は被災された人たちが少しでも早く生活再建できるように、八王子市とともに義援金の募集を開始しました。船田町会は８月１１日に開催した第４回役員会で義援金として３０,０００円を予備費から支出することを決定しました。

□通学路の防犯カメラ：船田小学校から共立女子高下の丁字路へ移設

５月に船田小学校の生徒が旧都営北団地の道路で不審者から追いかけられるという事件が発生しました。さいわい大事に至らずに終わりましたが、長房青少年対策委員会では学校側と折衝して、船田小学校の校門近くに複数ある防犯カメラのうち１台を共立女子高通りの丁字路へ移設することを確認しました。準備でき次第、着工します。なお、町会内に不審者も増えています。気がついたら直ちに高尾警察署の長房交番へ通報してください。

□雷にも注意を！　プラスパータウンで被害

８月６日１６時半頃から、３０分間も連続して雷が鳴り激しい雷雨となりました。このとき、１３区のプラスパータウンの一軒のテレビアンテナへ雷が落ちて、テレビ、パソコン、ガス器などおおきな被害を受けました。子供を含めた家族は外出中でホッとしていましたが雷はどこの家にも落ちる可能性がありますので十分注意をしてください。

忘れ物　納涼祭の７月２１日(土)ハローキテイーちゃんの赤い財布、「エリ」～青木副会長まで